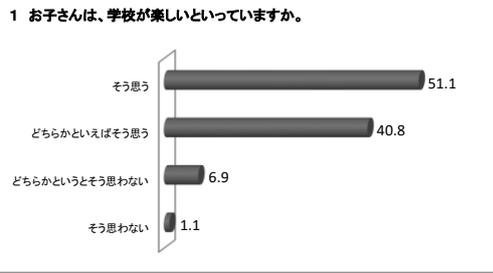


# 令和6年度 第2回 学校評価アンケート集計結果について (回答 174件 回答率 53.3%)

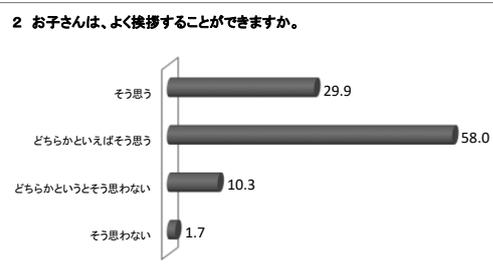
※ グラフの単位は%です。無回答についてはグラフには載せてありません。肯定評価とは、「とてもそう思う」「どちらかというと思う」の合計です。



肯定評価 前回 94.3% ⇒ 今回 92.0%

前回に引き続き、「学校が楽しい」と感じている児童が多く、学校としても励みになっています。しかし、「学校が楽しい」と感じている児童の微減、「どちらかというと思う」と感じている児童がいることに関しては、慎重に原因を探りながら、改善に取り組む必要があると考えています。

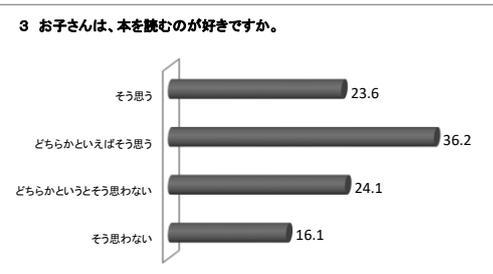
本校のめざす学校像の一つに「児童が明るく元気に登校し、楽しく学び、仲良く生活する学校」とあります。児童一人一人にとって、居心地がよく、学校へ行くのが楽しみだと感じてもらえるよう、今後も学級経営、教育相談を充実させてまいります。また、子どもたちが楽しく学び、力を付けられるよう授業改善、授業実践に努めてまいります。



肯定評価 前回 85.7% ⇒ 今回 87.9%

日頃から、児童一人一人が相手を意識しながら、進んで挨拶をしようと取り組んでいるところですが、その成果が少しずつ現れ、相手の方を向いて挨拶をする児童や、相手に聞こえる声の大きさを挨拶ができる児童が増えました。高学年児童が中心となって行っている「あいさつ運動」も、全校のよい手本となっています。

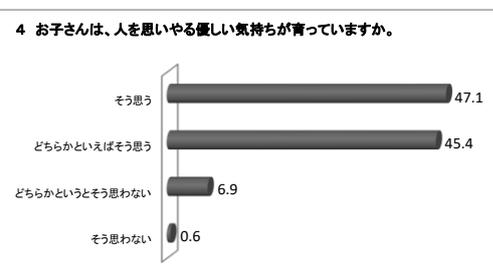
挨拶は、大人になっても大切にしていかなければならないことの一つと考えています。今後も、教職員が手本となって挨拶をしたり、上手な児童を称賛したりして、気持ちのよい、爽やかな挨拶ができるよう声をかけていきます。挨拶がさらに上手になるように、ご家庭でもご協力をお願いいたします。



肯定評価 前回 61.9% ⇒ 今回 59.8%

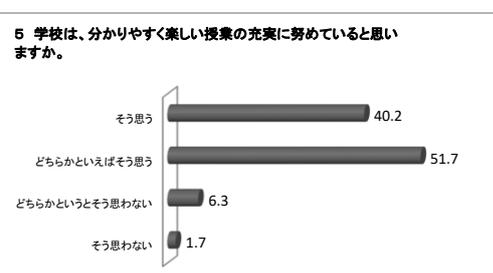
読書タイムや、授業の中で図書室利用の時間を設定して、図書室に行く時間の確保や本に親しむ機会を大切にしてきました。後期は図書委員会の6年生が企画した「お話し会」をしたり、5年生が「おすすめ本」をPOPと帯で紹介したり、児童からの企画・発信で、本に親しむ取り組みをしています。また、4月からの貸し出し冊数が90冊を超えた児童が13人もいました。

全体としても本に親しむ機会や取り組みをさらに工夫して、読書の楽しさを味わわせ、自分から進んで、楽しみながら読書ができる児童の育成や環境作りにも努めてまいります。



肯定評価 前回 94.7% ⇒ 今回 92.5%

前回同様、高い評価をいただきましたが、前回の評価から、肯定評価が若干減少しています。「人を思いやる気持ち」や「相手を尊重する気持ち」は、学校生活の中で特に大切に指導しています。行事や縦割り班活動等を通して、学年を問わず、互いに相手を思いやった言動ができれば、居心地のよい楽しい学校生活が送れると思います。言葉遣いについても意識させ、丁寧に優しい言葉を使ってコミュニケーションがとれるよう、まずは教職員が手本となって、引き続き指導してまいります。また、継続して道徳の授業や学級活動も大切に、学校生活全般で、「人を思いやる気持ち」や「相手を尊重する気持ち」を育ててまいります。

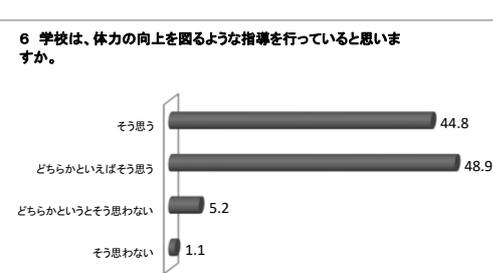


肯定評価 前回 90.0% ⇒ 今回 92.0%

学力向上をめざし、引き続き職員一同、日々授業の充実・改善に努めています。毎月、学力向上委員会を開き、児童の学習状況を把握し、教科指導の在り方について協議しています。また、毎週末の学年会議では学習内容の検討や児童にとって「分かる授業、楽しい授業」を目指して話し合いを行っています。ドリルタイムを効果的に活用し、基礎学力の定着にも努めてきました。

特に今年度は、学校全体で算数科の学習に力を入れて取り組んできました。自分の考えをもち、友達と伝え合いながら学習を深めています。

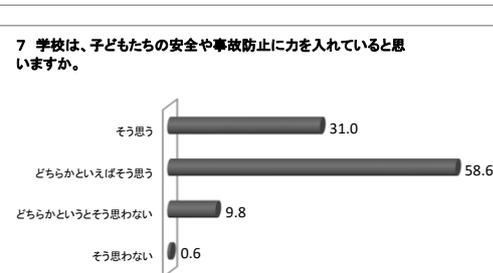
今後も、授業改善に努め、子どもたちのやる気を引き出し、基礎学力の向上を目指してまいります。



肯定評価 前回 88.2% ⇒ 今回 93.7%

児童の体力向上のために、体育科の授業の充実や体育行事の実施に加え、休み時間に外で遊ぶことを奨励してきました。後期は、運動会や新体力テスト、校内マラソン大会等の行事を通して、体力向上を図ることができました。特にマラソン練習では、児童それぞれが目標をもって走りました。今は、学校全体でリズム縄跳びに取り組み、一人一人ができる技を増やしているところです。

今後も体育科の授業の充実はもちろん、体育的行事を通して、さらに体力の向上を図ってまいります。

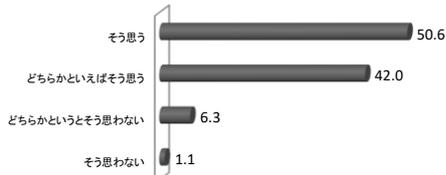


肯定評価 前回 89.1% ⇒ 今回 89.7%

保護者や地域の皆様におかれましては、月始めの交通安全指導や、日頃の登下校等の見守りをしていただき、ありがとうございます。学校では、日常の場面やニュース等を取り上げ、日々の指導の中で、常に安全を意識して指導に当たるようにしています。また、道路の歩き方や横断の仕方、自転車の乗り方やヘルメット着用の奨励など継続して安全指導を行っているところです。ご家庭でもお子さんにご指導いただくと共に、地域の見守り等引き続きご協力をお願いします。

避難訓練では、実際に災害が起きたらどう行動するのかを児童一人一人が考えられるような指導をしています。施設・遊具の安全点検を毎月確実に実施し、危険箇所の早期発見と早期対応に努めています。これからも児童の事故防止に努め、安心安全な学校となるように、環境を整えてまいります。

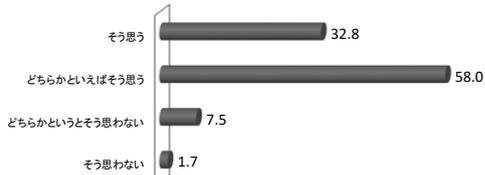
8 学校は、保護者からの連絡や相談に、適切に応じていると思いますか。



肯定評価 前回 91.8% ⇒ 今回 92.5%

児童の健やかな成長のために、家庭と学校の連携はとても重要であると捉えています。学校生活の中で気になることがあった時には、担任から保護者の方に電話や連絡帳等でお伝えするように努めております。しかしながら、学校側が気付かない点や至らない点も多々あると思いますので、お子さんのことで何か気になることがありましたら、遠慮なくご連絡いただければと思います。相談につきましては、担任はもちろん教育相談員、スクールカウンセラー、養護教諭、そして教頭も相談窓口として対応させていただいています。今後も家庭と学校が連携し、子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境作りに教職員一同努めてまいりますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。

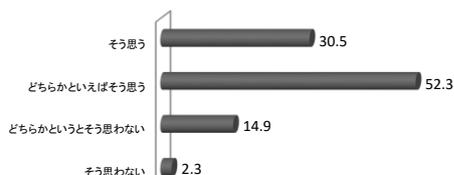
9 学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝えていると思いますか。



肯定評価 前回 92.6% ⇒ 今回 90.8%

学校だより、学年だより、マチコミのタイムライン等で地域・家庭へ学校の教育方針や日々の学校生活、行事等の様子を情報発信するようにしています。学校運営協議会制度を活用して、学校経営について委員の皆様からご助言をいただきながら、より良い教育活動になるよう努めています。保護者の皆様には、授業参観や各種行事等を通して学校に来ていただく機会を設けていますので、その際はぜひご来校いただき、本校の教育活動をご覧ください。よろしくお願いたします。

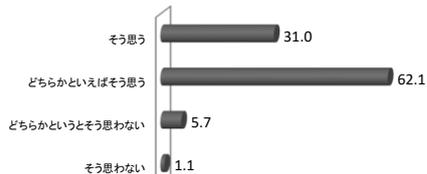
10 学校は、子どもの話をよく聞き、一人一人にきめ細かく対応していると思いますか。



肯定評価 前回 86.5% ⇒ 今回 82.6%

本項目について、概ね肯定的な評価をいただきました。しかしながら前回より肯定的な評価が下回っています。結果を真摯に受け止め、全職員の共通理解を図りながら児童一人一人に寄り添った、適切な対応に努めていきます。教育相談や学校生活アンケート等を受け、その内容に基づいて、その都度問題解決に努めております。その際、管理職を含めた職員間の連携を図り、対応しているところです。また、日々の様子や会話等から、いつもと違った様子が見られた時には、教職員が、児童一人一人に寄り添った対応や指導ができるよう今後も心がけてまいります。お子さんについて、何か気になることがありましたら、いつでもご相談いただければと思います。

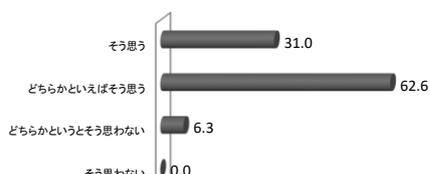
11 学校は、いじめのない学校づくりのためにアンケート調査や教育相談、道徳教育等に力を入れていると思いますか。



肯定評価 前回 92.6% ⇒ 今回 93.1%

「美郷台小いじめ防止基本方針」(美郷台小ホームページに記載)を定め、児童が安心、安全で楽しく学校生活が送れるように取り組んでいます。特に「いじめ」の未然防止、早期発見・早期対応のために、アンケート調査や教育相談を定期的に行ったり、日々のコミュニケーションをしっかりとつたりして、変化を見逃さないよう努めています。また、道徳教育を充実させ、豊かな心を育むことにも注力しております。定期的に生徒指導委員会を開き、児童の様子について教職員や教育相談員、スクールカウンセラーで、情報共有と共通理解を図り、よりよい指導や支援につなげていけるように努めています。ご家庭で気になる様子が見られましたら、ぜひ学校へご相談ください。

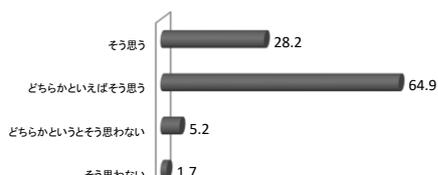
12 学校は、合理的配慮など特別支援教育について、分かりやすく伝えていると思いますか。



肯定評価 前回 88.7% ⇒ 今回 93.7%

合理的配慮や特別支援教育について、保護者の方に一定のご理解いただき、大変嬉しく思います。今後も、特別支援学級在籍のお子さんはもちろん、通常学級に在籍する特別な支援が必要なお子さんに対しても、個別に学校と家庭とで情報交換をしながら、それぞれの子どものに合った支援を行うよう努めてまいります。学習面や生活面の中で、気になることをや心配なことがありましたら、担任、特別支援コーディネーター、教育相談員、教頭等がいつでも対応いたしますので遠慮なくご相談ください。

13 家庭や地域は、学校に対してそれぞれの役割を果たし、連携・協力していると思いますか。



肯定評価 前回 89.5% ⇒ 今回 93.1%

保護者の皆様や地域の皆様の多大なるご支援とご協力のおかげで、円滑な学校運営ができましたこと、とても感謝しております。地域・家庭・学校が連携し協力することで、児童の健全な育成へとつながります。今後もご支援とご協力の程、よろしくお願いたします。PTA活動では、本部役員、各専門部、学年理事、家庭教育学級といった多くの皆様に大変お世話になりました。また、子ども会の方を中心に、登下校の安全指導や見守りにご協力いただきました。ありがとうございました。学校支援地域本部事業については、コーディネーターの方を中心に、前期に引き続き各種体験行事やマラソン大会の交通安全補助や見守りに御協力いただき、大変ありがたく思っております。今後も組織的・計画的に家庭や地域と連携して、児童の教育活動のより一層の充実と、家庭・地域と共に歩む学校作りに努めてまいります。